

長野赤十字病院 がん治療センターだより

第22号 (2022年05月31日発行)

発行: 長野赤十字病院 がん治療センター 事務局 がん診療連携課

TEL 026(226)4131 内線2205

E-mail ganshinryo@nagano-med.jrc.or.jp

4月より婦人腫瘍科部を開設いたしました



長野赤十字病院産婦人科では婦人科悪性腫瘍の診断・治療の質の向上を目指し、日々診療を行っていますが、本年1月1日付けで日本婦人科腫瘍学会認定専門医の資格を持つ、西澤千津恵先生が赴任しました。

これを機会に4月より「婦人腫瘍科部」を新たに開設し、婦人科腫瘍の治療に一層力を入れ、地域の婦人科腫瘍診療の向上を目指して努めて参ります。

婦人科悪性腫瘍 最近のTOPIX

婦人腫瘍科部長 西澤 千津恵

近年婦人科悪性腫瘍は増加傾向にあります。

- ・ 婦人科腫瘍は検診で見つかることも多く、若いうちからの定期的な検診が重要です。
- ・ 初期がんであれば傷を最小限にした腹腔鏡による負担の軽い手術が受けられます。
- ・ 進行がんの治療成績も向上しており、集学的な治療により、治癒する患者さんが増えています。

子宮体がんについて当院における診断と治療

子宮体がんの最近の動向

罹患数・死亡数

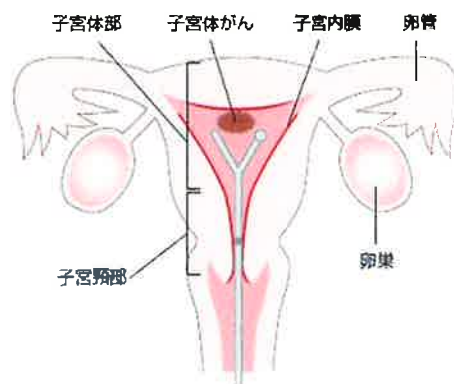
20年前と比べて罹患者が3倍に。
年17,000人が罹患、2,500人が死亡。

症状

最も多い自覚症状は不正性器出血です。
月経時以外や閉経後に出血がある場合は
注意が必要です。

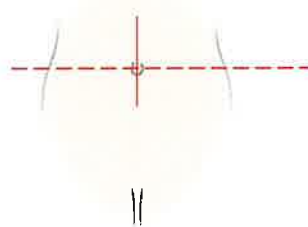
検査

子宮体がんは子宮内膜を生検すること
で確定診断が可能です。MRIやCTで腫瘍の広がり进行检查します。



1. 腹腔鏡下手術、ロボット支援手術

初期子宮体がんを中心に婦人科悪性手術の腹腔鏡下手術
が広まってきています。当院では2021年から初期子宮体がん
に対しロボット支援手術を始めました。



現在まで12例の
ロボット支援手術
を行っています。

婦人科悪性腫瘍は開腹手術が基本
で、初期でも傷が大きくなりがちです。
1cm程度の小さな穴を腹壁に数か所開けて、開腹術と同じ
術式が可能です。腹腔鏡やロボット支援手術の場合、開腹術
と比べて術後の回復が早く、早期退院や早期の社会復帰が可
能です。出血量も少なく、患者さんに優しい手術です。



長野赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

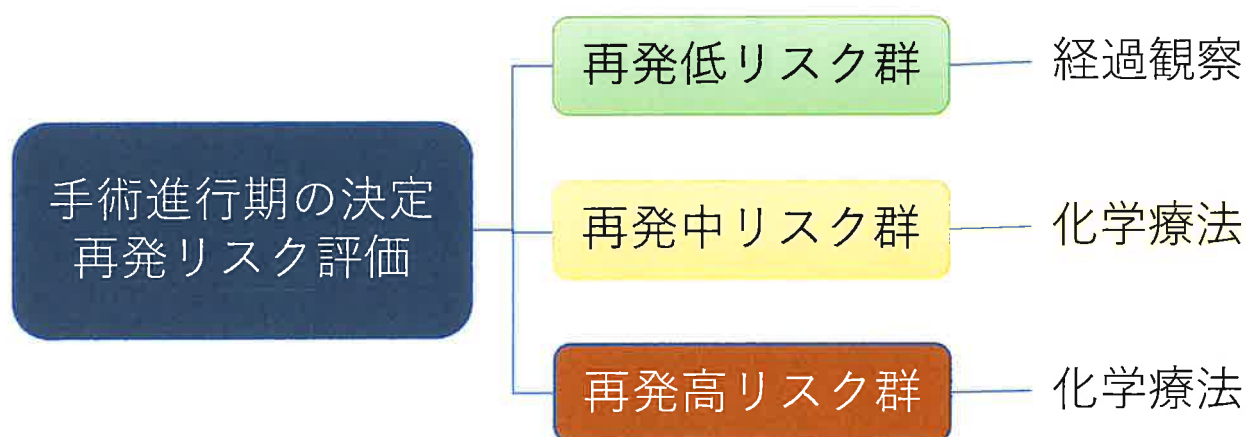
2. 子宮体がんの薬物療法

手術で採取したがん細胞の組織型や悪性度と、がんの広がりから再発のリスクを予測します。

子宮体がんは、組織型や悪性度により

1. 「類内膜がんグレード1、2」
2. 「類内膜がんグレード3」
3. 「漿液性がん・明細胞がん」の3つのグループに分類されます。

その他子宮の筋肉の層、血管、リンパ管、子宮頸部、腹腔内へのがんの広がりから、再発低リスク、中リスク、高リスクを予測し治療方針を決めていきます。



～がん化学療法～

ドキシソルビシンとシスプラチンを併用するAP療法や
パクリタキセルとカルボプラチンを併用するTC療法を行います。
薬剤の選択は、患者さんの状態や副作用などを考えて決めていきます。

再発

子宮体がんでは、骨盤内の再発のほか、肺や肝臓などの転移として見つかることがあります。

抗がん剤をはじめとする薬物療法が多いですが、放射線治療をお勧めすることもあります。

それぞれの患者さんの進行度、体調に合わせて方針を決めていきます。



3.再発子宮体がんの最新の薬物療法

レンバチニブ+ペムブロリズマブ療法

進行・再発した子宮体がんに対する治療の選択肢は限られており、がん化学療法と比較して全生存期間、無増悪生存期間を有意に延長した初めての免疫療法+マルチキナーゼ阻害剤併用療法です。



3週間ごと点滴



3週間ごと点滴



(ペムブロリズマブ)



(レンバチニブ)毎日内服

令和2～3年 当院の子宮体がん治療実績
手術件数 37件（内内視鏡手術14件）
化学療法件数 22件

登録医の先生方へ

当科には婦人科腫瘍専門医、産婦人科内視鏡技術認定医が在籍しています。特に腹腔鏡下手術に力を入れており、すべての婦人科悪性腫瘍に対応しています。どのような心配事でもお気軽に当院にご紹介ください。



長野赤十字病院

日本赤十字社
Japan Red Cross Society

長野赤十字病院は地域がん診療連携拠点病院です